所沢市立美原中学校

学校だより No14

令和３年度　第１４号
３月２５日（金）

学　校　教　育　目　標
・進んで学ぶ生徒（知）
・心豊かな生徒（徳）
・たくましい生徒（体）

修了式に想いを寄せて！！　式辞より

先日の第46回卒業証書授与式は、今回もコロナウィルスの拡大防止のため、【略】制限のある卒業式でしたが、在校生の皆さんが準備してくれた素晴らしい会場で、皆さんの先輩たちは、卒業式を立派に行ってくれました。そんな姿を見せられなかったのが本当に残念です。

さて、今日の予定されていた皆さんの修了式では、皆さんが１・２年生の教育課程を修了した証である修了証書を授与される式です。【略】皆さんの進級認定は、先生方による進級認定会議がしっかりと行われ、校長の決裁により進級が決まります。したがって通知表の裏にある修了証に朱色の学校印が押されていると思います。それは無事、皆さんが進級を認定された証なのです。中学校では、この会議の存在がわかりづらいのですが高校に行くとこの存在が明確に感じられます。そのことはまた違う機会に学んでください。私は、この会議で、多くの先生方から皆さんのお話を聞くことができたことと、どの生徒も進級に対する思いがあることを各先生方のあたたかい気持ちとともに聞けたことは、何よりでした。是非、進級した皆さんは、そのような先生方と共に来年度も、この美原中学校で自分を生かす術を学び、人を生かす豊かな心を育んでほしいと考えます。

さて、今日は、令和３年度の最終日です。今年度の美原中学校のすべての活動がおわり、明日から年度をまたぐ学年末休業日に入ります。ここでは、今までのコロナ予防対策とは、違って徐々に部活動も展開できますが、春休みが終わると、すぐに新しい学年、新しいクラスになります。現在のクラスは、本日で解散です。皆さんは、この一年間、それぞれの場面で努力していたと思いますが、これから先の学校行事・部活動、そして毎日の授業など多くの機会に、この１年間の経験を糧に再度チャレンジしてください。

学校は、皆さんが一日の大半を過ごす場所です。学校は、人と人とが共通の目標を持って、一緒に過ごす場所です。人間関係を育む場所でもあります。そのような中、お互いを尊重し話し合い、協力し、共に行動して、歓喜にわくような充実感を感じてもらいたいと強く思います。その中でも時には、辛い気持ちになったり、あたたかな気持ちになったりすることもあるでしょう。また意味のない諍い（いさかい）があったり、人がいやな思いをしているのに気が付かなかったり、気がついていているのに手をさしのべられない自分に憤りを感じたりすることもあります。時には、努力が報われない自分が嫌になったり本当に毎日様々な経験をするはずです。そのような中でも、皆さんには、若さとエネルギーという宝があります。それを原動力に皆と一緒に行動し仲間を助け、各自が一役を担い課題を解決すること自体が貴重な経験なのです。この体験を重ねることで、生きるために必要な「しなやかな、ねばり強さ」を身に着け「本気の笑顔が体験できる美原中学校」の実現を目指し素敵な人に育ってください。さて、最後にお話しすることがあります。以前もお話ししましたが、「自分の命も他人の命も大切にする」ということです。「命」とは、生命としての命だけの事では、ありません。人の尊厳も含めてです。

人は、当たり前の毎日が、突然なくなるなどとは、ほとんどの人が考えていないでしょう。私もそうです。【略】しかし、私は、今までの教職生活で経験したくない経験を何度かしています。今毎日報道されている戦争の事、自然災害により人の命が奪われていること、コロナにより亡くなる人がいることなども、予想のつかないことかもしれません。しかし、私が経験した病気の発症や交通事故など、その瞬間から世界が急に変えられてしまいます。身近にこのようなことは、当たり前のように存在します。だからこそ美原中学校では、「本気の笑顔が経験できる美原中学校」を目指しながら、いかなる課題にもみんなで叡智を結集し、生き抜いていく人を育てたいと考えます。

この学期末は時間がたくさんできる人も多いと思います。そんな時、少しでいいので自分自身に問いかけ、自分は、何がしたくて何ができるのかを、考える時間をもってもらいたいと思います。そして、新学期がスタートするときには、自分も新たなる自分に期待し、新たなる出発の喜びをしっかり実感できるような学校で、みんなで学びましょう。そして、美原中学校の上級生として、できる準備をしっかりして新入生を迎え、プライドを大切にする上級生としてスタートしましょう。

新年度に絶対に誰も欠けることなく、またこの美原中学校に集い、元気にスタートしましょう。

校長見聞録【人のなせる技 ２ ☺　挑む姿に敬意と感謝を忘れない！】

椅子が縦横そろっていると斜めにもそろいます

前号で、人のなせる技を前回の学校だよりで触れたが、ここでその No2 について触れたい。それは、素晴らしい人のなせる技だ。まずは、１・２年生で行った３年生を送る会だ。これもコロナの制限の中での実施だったが、１・２年生とも素晴らしい企画やVTR で卒業生たちも本当に笑顔がたくさんで見入っていた。私も横で見させてもらったが随所に感謝を表し「テーマ：スマイル☺ 」が実現された穏やかで本当に楽しい時間だった。多くの生徒が頑張ったことが伝わりその結果として卒業生の笑顔が見れたことが更にうれしかった。頑張って創りあげた生徒たちに感謝と敬意を伝えたい。続いてすぐに卒業式だ。美原中学校の卒業式の準備は、卒業学年の先生が準備の様子を見て、てきぱきと動き丁寧に仕上げられた会場に見て感心していた。コロナのための第二会場も映像準備も整え、万全の態勢で臨んだ。幸いにも第２会場は、ほぼ使わずに済んだが準備に費やした労力やたとえ使われなくても用意をすることには、「一期一会」の精神を感じるようでうれしかった。当日、最終点検に校長が会場を見るが、入り口に用意されたテントや通路・外回りの清掃、校内の清掃、そして会場準備など本当に総力をあげて取り組むイベントなのだ。そして来年は、２年生が卒業生に１年生は、卒業式式の準備等の中心学年になる。こうして上級生としての「プライドの伝承」がされていく。ステージ上に飾られた下級生がつくったフラワーアレンジメントが豪華に正面を彩っていた。

【男女混合名簿の使用について】

来年度から美原中学校では、クラス発表をはじめ、男女混合名簿を導入してまいります。「性の多様性」「ジェンダーマイノリティ（LGBTQ 等の性的少数者）」「ジェンダー平等」についても世界的にも注目され２０１５年国連総会で示された持続可能な開発目標（SDGｓ）の１７の世界的目標の中でも「ジェンダーの平等を実現しよう」が掲げられています。「自分らしく生きる」ということから考えていきたいと思います。単純に男女の区別がいけないのではなく、例えば、トランスジェンダーの子供がいたら「心の性」は女子なのに、いつも男子（その逆もある）と一緒に過ごすことになり、日々違和感と闘わなければならないかもしれません。中学生は、思春期の時期に当たり、簡単に変更や解決できないこともあり、課題は、多く、まず始められるところから行う予定です。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。